

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	水分が一定量確保できるようにする。	脱水や熱中症予防の為に1日1500～2000ccを目標とする。	時間を問わず飲水を促しています。 1日1500～2000ccを目標として、飲水チェック表にて、管理を行います。 以前は職員間の口頭伝達だけで曖昧になっていた部分もありましたが、チェック表を使用する事で、目に見える管理ができ取り組みの重要性も共有出来ています。 中々2000ccの飲水を達成出来ておらず、今後熱中症対策も含め飲水だけでなく、手作りゼリーやシャーベット等、提供方法に工夫し達成を目指します。飲水自体を拒まれる方には、ストローを使用してみたり、冷やしたり温めたり等工夫を行います。	3ヶ月
2	46	便秘されないように予防を行う。	上記の水分補給や運動等の活動量を増やして行く。	体操の活動をもって、便秘予防に取り組みします。 午前、午後に分けて体操を行っています。 午前の体操で入居者様の身体状況に合わせ意識付けの声掛けをしながら実施しています。 また、1日の生活の中でも、洗濯物たたみやお皿拭き等、入居者様の生活史を自然と取り入れた方法も実施しております。 取り組みによって表情や姿勢も変化しますので、写真に残しアルバムを作成する予定です。 今後の計画として、2階3階合同で大きな作品(貼り絵・塗り絵・工作等)を作り、福岡県内の展示が出来る場所へ掲示出来るよう考えています。	3ヶ月
3	51	外出支援を増やしていく。	外出や外食に出掛ける機会を増やし、季節ごとの変化や旬の食べ物を味わって頂く。	近隣公園へのお散歩では気分転換だけでなく、「四季」を感じて頂く事によって五感を刺激し、脳の活性化も図っています。 買物レクとして近くのコンビニへ行き、店員さんへは「安くして下さい」や大学生とは「学校は楽しい？」等交流が図れています。 今後はどんな小さな事でも記念撮影を行い、入居様の「今を生きる姿」をご家族へ届けられるように取り組んでいきます。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。